

高校生にもできること

テモテ・コール（F F J 代表）

東京都池袋近辺にいる野宿者に対して、意外なところから援助の手が差し伸べられている。それは、東京都東久留米市にあるクリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン（C A J）という国際スクールの高校生たちである。

C A J は、宣教師子弟の教育のために 1 9 5 0 年に創立されたキリスト教主義の学校で、20ヶ国から 4 6 0 人の生徒が在籍する。「キリストのために、この世にインパクトを与える」という学校のビジョンのもとに、高校生の聖書クラスで出される一つの宿題は、何かの社会問題を取り上げ、社会に何らかの貢献をするプロジェクトを計画することだ。

去年、高校 2 年生のデビッド・ラッドは、このプロジェクトのために 2 人のクラスメートと協力してホームレスを助けようと決めた。新年早々、80人分の衣類、サンドイッチなどの食料、また伝道用トラクトを準備した。6時に集合し、デビッドと友だち、その他のボランティアは、25分先の池袋に行き、駅構内に寝ているホームレスの人々に食べ物の袋その他を配った。

「配り終わってから、朝ご飯を食べながらぼくたちは話し合いました。中学校の時にも似たようなことをしましたが、その時は先生の企画でした。でも、これを一度だけの宿題に終わらせてはいけない、ぼくみたいな高校生が世の中に役立てるチャンスだと思ったんです」（以下省略）